

委員からお求めのあった資料

平成28年2月25日

患者負担を無料化した場合の影響額(平成24年度予算ベースの粗い試算)

(単位:億円)

	給付費の増加(医療保険分)		
		医療費の波及増分 ※1	患者負担の減少分 ※2
①高校卒業まで	8,400	3,000	5,300
②中学卒業まで	7,100	2,400	4,700
③小学卒業まで	5,700	1,700	4,000
④就学前まで	2,400	0	2,400

注:100億円単位で四捨五入しているため合計が合わないところがある。

※1 小学生以上の影響額には、医療費の波及増の効果(長瀬効果)を見込んでいる。

なお、未就学児の患者負担は地方単独事業により無料化されている自治体が多く、それによる医療費の波及増は既に生じていることに鑑み、上記の粗い試算を行うに当たっては更なる医療費の波及増の効果(長瀬効果)を織り込んでいない。

※2 上表の患者負担(医療保険分)の減少分には、地方単独事業による地方負担の減少分が含まれる。